

鉄道&バスによるハイブリッド連携で地域特産物を首都圏市場へ

千曲の「生あんず」・貨客混載実証実験を実施します

しなの鉄道株式会社(本社:長野県上田市 代表取締役社長:土屋 智則)と東急バスグループである株式会社東急トランセ(本社:東京都目黒区 取締役社長:古川 卓)は、2022年7月4日(月)、しなの鉄道屋代駅(長野県千曲市)から東急トランセ下馬営業所(東京都世田谷区)の間を鉄道と高速バスで結び、長野県千曲市の名産品である生食用の杏(あんず)を、国内では珍しい「鉄道とバスの継走による貨客混載」にて輸送する実証実験を行います。



写真提供:千曲市



しなの鉄道沿線市町のひとつである長野県千曲市は、あんず生産量が日本一で、古くは江戸時代に伊予宇和島藩主の息女が松代藩へ興し入れの際、故郷を偲んであんずの種子を持参したことがその始まりと言われており、例年6月ごろに収穫の最盛期を迎えます。

あんずは、収穫期が一ヶ月程度と短いためになかなか市場へ出回らないといった流通上の課題もあることから、今般、株式会社アップクオリティ(本社:東京都新宿区 代表取締役社長:泉川 大)が企画・運営する貨客混載物流システムを活用して、「異業種の交通機関」である しなの鉄道 と 東急トランセ が連携し、「貨客混載」によって迅速に首都圏市場へあんずをお届けする実証実験を行うことといたしました。

これにより、両社は鉄道とバスという業種の垣根を越えて連携し、あんずという希少性の高い旬の食材を、新鮮なまま首都圏のイタリアンやフレンチのレストランへお届けするという販売戦略の支援を通じて、地域の活性化に寄与したいと考えております。

<参考>実証実験スケジュール(予定)

時刻	内容
16:33	しなの鉄道 屋代駅にて積載し出発
17:55	しなの鉄道 軽井沢駅到着。荷下ろしを実施
18:30	東急トランセ 軽井沢駅停留所にて積載し出発
21:35	東急トランセ 下馬営業所にて荷下ろし後、配送業者へ引き渡し
翌日午前	物流センター到着後、首都圏の各店舗へ納品



貨客混載①
「鉄道」区間

貨客混載②
「バス」区間

※鉄道輸送区間についてご取材希望の場合は、7/4 12時までに下記お問い合わせ先までご連絡ください。

※実証実験内容や実施時間は、やむを得ない理由で変更・中止となる場合があります。

※ご取材に当たっては新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底にご協力をお願いします。

しなの鉄道株式会社

〒386-0018 長野県上田市常田1-3-39

<https://www.shinanorailway.co.jp/>

◇本実証実験に関するお問い合わせ先

営業課 (担当: 唐澤) TEL: 0268-21-4702 (平日: 8:30~17:30)

◇本プレスリリース・取材(鉄道区間)に関するお問い合わせ先

経営企画課 (担当: 嵯峨) TEL: 0268-21-4701 (平日: 8:30~17:30)

東急バス株式会社

〒153-8518 東京都目黒区東山3-8-1

<https://www.tokyubus.co.jp/>

◇本プレスリリース・取材(バス区間)に関するお問い合わせ先

経営統括室 企画部 (広報担当)

TEL: 03-6412-0109 (平日: 9:30~18:00)